

授 業 科目名	【Gカリキュラム】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ ※本年度は開講せず 【EFカリキュラム】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ	選択履修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目／【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	大学生になりきる		担当者	青木 隆		
授業概要	<p>【概要】 1年次配当のプレゼミに引き続いて、大学であと3年間法学を学び社会に「法学士」として羽ばたくために必要と考えられる基礎的な知識と方法を習得し、自分で考え、それを適切に表現する力の向上をはかります。</p> <p>【到達目標】 日本や世界のことを知り、読み、書き、話すことを大学生らしくできるようになりましょう。</p>					
履修条件	2018年冬の選抜に正規に応募し、合格すること。 前・後期通して履修することを単位認定の条件とする。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 特に指定しません</p> <p>【参考書】 六法必携</p>					
授業回数	授業内容					
授業内容	<p>まず社会現象の事実とその背景を理解し、次にその問題点を発見して分析し、その上で自身の評価を決定する。そういう思考を身につけることを目標にします。具体的には、下記のように進行するつもりです。</p> <p>形式 前期 日本の現状の理解を国際関係との関連で深めるために、その特徴を現すと考えられるテーマを選び、これまでの歩みやその論点について担当者の講義と質疑応答で理解します。</p> <p>後期 前期に学んだことをさらに深めるために、いくつかのグループに分かれて、調査、報告、討論を行う演習を進めます。その準備は、夏休暇中にしなければならないこともあります。</p> <p>具体的な内容については、平成31年度に取り上げる話題の詳細は受講生の希望等も勘案して決定しますので、参考として平成26～30年度のを掲げます。</p> <p>日本のあゆみ（明治維新、日清戦争、日露戦争、兩次世界大戦） 大日本帝国憲法と日本国憲法の比較 安全保障 皇室制度 自衛隊の創設と発展</p> <p>履修中の専門科目の補習 など</p>					
予習 復習 内容	進行に応じて、課題、調査方法等を指示します。					
評価方法	課題の達成（55%）、受講態度（45%）に基づきます。					
評価基準	授業に出席するのみならず積極的に参加し、課題を達成するとともに、学習した内容を理解した者には「A」、不足がある場合にはその程度により「B」または「C」とし、出席、参加度または達成度が著しく低く演習に受講したと認められない者はその程度に応じて「D」または「E」とします。					
その他	※G刈：法【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】 ｽｯ 【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】 情【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】／EF刈：法【選択必修（γ）】 ｽｯ 【選択必修（γ）】 経【選択必修（γ）】					